



横浜市立富岡小学校

学校だより 5月号



生活を明るくするあいさつ～美しい笑顔とともに～

校長 浅野 修一

一日の始まりの朝、子どもたちの明るい笑顔とあいさつに出会うと、さわやかな気持ちになり、心が温まります。にっこりと笑う笑顔というものは、美しいものです。また、笑顔は私たちが社会生活をしていくうえでたいへん大事なものだと思います。

アメリカのデール・カーネギー氏は著書『人を動かす』の中で、

- ・笑顔は、元手が要らない。しかも、利益は莫大。与えても減らず、与えられた者は豊かになる。一瞬間見せれば、その記憶は永久に続く。
- ・笑顔は、どんな金持ちもこれなしでは暮らせない。そうでない人もこれによって豊かになる。
- ・笑顔は、家庭に幸福を、商売に善意をもたらす。
- ・笑顔は、友情の合い言葉。
- ・笑顔は、疲れた者にとっては休養、失意の人にとっては光明、悲しむ者にとっては太陽、悩める者にとっては自然の解毒剤となる。
- ・笑顔は、買うことも、強要することも、借りることも、盗むこともできない。無償で与えて初めて値打ちが出る。

と、書いています。心の底から出てくる笑顔や、心の温まる本物の笑顔は、人から人へ伝わっていき連鎖反応を起こしてこの世の中を明るくしていきます。

富岡小学校でも、子どもたちの大きな声と、にっこり笑顔のあいさつは、学校を明るくしてくれています。交わすあいさつは、相手を認めている大切なシグナルです。あいさつが返ってこないとか私のことを気に留めてくれていないのかな？>と不安になります。同様に、「ありがとう。」「どういたしまして。」は互いの行為に対する感謝と敬意を、「行ってらっしゃい。」「行ってきます。」は道中の安全を願う気持ちとそれに対する感謝を、「さようなら。」「また明日。」は今日の別れと明日の希望のやり取りを、それぞれ表しているのではないのでしょうか。これからも、もっともっと心のこもったあいさつができる富岡の子どもたちが増えることを願っています。

新年度も1ヶ月が過ぎようとしています。入学してからこれまでの間、「エプロン隊」の皆様が毎日1年生をサポートしてくださいました。初めての学校生活をスタートさせた1年生ですが、今では緊張も和らぎ、楽しそうに過ごしている場面を多く見るようになったのも、エプロン隊の皆様のお力添えがあったことが大きいと思います。心から感謝申し上げます。また、6年生も昇降口から1年教室まで送ってあげたり、教室内で1年生の荷物整理やロッカーにランドセルをしまう手伝いをしてくれたりと力を貸してくれました。ありがとうございました。1年生が6年生に甘えたり抱きついたりしている姿を見ると、こちらもうれしくなります。これから6年生は、卒業まで1年生とかかわることが多くあるかと思います。よろしくお祈りします。



明日から長期休業以外では最長となる10連休がスタートします。ぜひこのお休みを有意義に過ごしていただければと思います。あわせて、くれぐれも事故や事件に巻き込まれることのないよう、お子様の健康や安全にご留意いただければと存じます。5月7日の朝会で、子どもたちの明るい笑顔とあいさつに出会えることを楽しみにしています。